

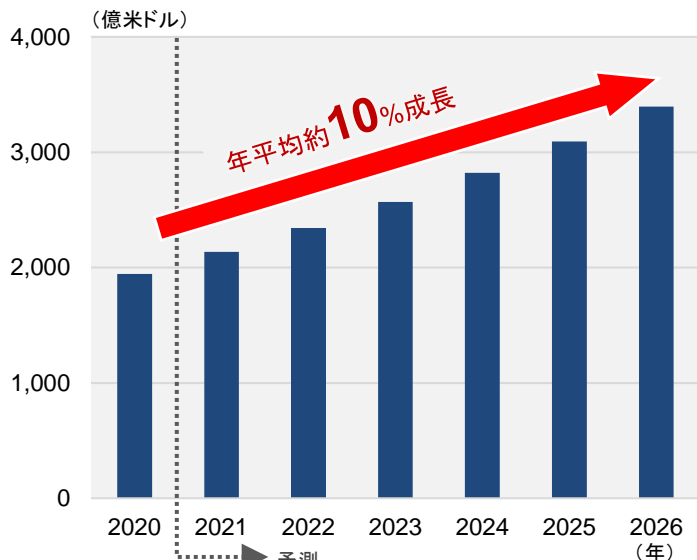
- FA(Factory Automation)とは「工場の自動化」のことで、さまざまな製品の生産工程における材料の加工や部品の組み立て、運搬、管理業務などが対象範囲になります。
- 少子高齢化に伴う労働力不足への対応に加え、製造業における国際競争が激化する中、高品質・低価格・効率的な供給を実現するために、FAの導入が進んでいます。
- FAの導入には、人件費の削減や人為的ミスの排除(≒品質の確保)、作業者の安全確保、生産効率の向上などのメリットがあります。

拡大するFA市場

- 技術革新で制御機器やロボットなどの精度が向上していることもあり、FAの導入が加速しています。将来的には、全自動に近い生産ラインの構築が実現するとみられます。
- 2026年の市場規模は約3,400億米ドルと、年平均約10%の成長が見込まれています。

産業制御・FA市場の推移

(2020年～2026年 ※2021年以降は予測)

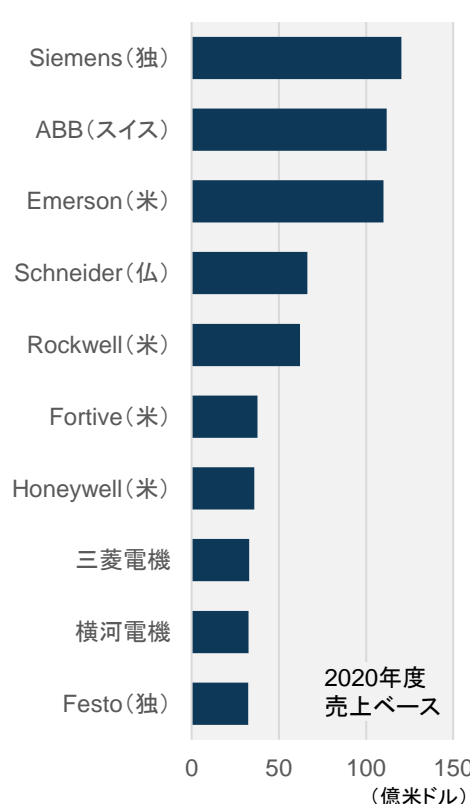


※上のグラフは過去のものおよび予測であり、将来を約束するものではありません。

※公開情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。情報の正確性・完全性について当社が保証するものではありません。

ページ記載の銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、弊社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

世界の主要オートメーションベンダー



Siemens(独):

- 大手総合電機メーカーで、売上構成のうち、FA関連事業が約28%、スマートインフラ事業が約25%となっています。
- 2023年4月、産業用オートメーションに最先端のITとAIを導入したオープンなプラットフォームを発表しました。

ABB(スイス):

- 重電・重工業の大手で、売上構成は、電力供給事業約47%、産業用ロボット関連事業約21%、オートメーション事業約20%、ロボティクス事業約10%となっています。
- 発電・送変電機器や自動化機器、ソフトウェア事業に強みがあります。

Emerson Electric(米):

- コングロマリット企業ですが、売上構成の約41%が、オートメーションと制御システム関連の事業となっています。
- 自動制御装置や計測・分析機器、精密空調といった分野に加え、プラント向けのプロセスオートメーションに強みがあります。

Schneider Electric(仏):

- 重電大手で、売上構成は、エネルギー管理事業約77%、産業用オートメーション事業約22%となっています。
- 産業用IoTやEV向けの充電スタンド、エネルギー設備の運営・メンテナンスサービス、仮想発電所といった分野も強化しています。

Rockwell Automation(米):

- プロセスとFAの大手で、売上構成は、サーボモーター・ドライブ事業約45%、オートメーション・制御ソフトウェア事業約29%、生産プロセス効率化事業約24%となっています。
- 分散制御システムやPLC(外部機器を自動でコントロールできる制御装置)の分野などに強みがあります。

※売上構成の割合は2022年度